

URL [https:// kenren.miyagi.coop/](https://kenren.miyagi.coop/)

県連速報

- 発信元
宮城県生活協同組合連合会
- 責任者 加藤 房子
- TEL 022-276-5162
- FAX 022-276-5160
- 2024.02.07
第690号
(2023年度：21号)

●1月31日（水）宮城県生協連会長理事名で、「第9期みやぎ高齢者元気プラン（令和6～8年度）中間案」へ意見を提出しました。

現在、宮城県の高齢者（65歳以上）人口は約65万4千人であり、要介護（支援）状態の方は約12万6千人、認知症の方は12万人から12万8千人と見込まれています。また、昭和22年から昭和24年に生まれた、いわゆる団塊の世代が全員75歳以上になる令和7年（2025年）には、県内の高齢者数は約70万人となり、要介護（支援）状態の方は約13万人、認知症の方は13万9千人にまで増加することが見込まれています。

そのような中、宮城県は、介護保険制度がスタートした平成12年3月に「第1期みやぎ高齢者元気プラン」を策定して以来、社会情勢の変化や地域の実情等を踏まえ、高齢者福祉に関する施策の基本的指針を定めるとともに、市町村の介護保険事業の推進等を支援するため、3年ごとに見直し新しいプランを策定しています。

令和6～8年度を計画期間とする次期計画を策定するにあたり、中間案を取りまとめ、令和6年1月11日（木）から令和6年1月31日（水）まで県民に対し意見募集が行われました。

宮城県生協連では、宮城県高齢者保健福祉施策の推進と介護保険事業の円滑な実施に向け「第9期みやぎ高齢者元気プラン（令和6～8年度）中間案」へ会長理事名で意見を提出しました。（後掲）